

令和2事業年度

決算報告書

自：令和 2年4月 1日

至：令和 3年3月31日

国立大学法人愛媛大学

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,166	12,466	300	
うち補正予算による追加	-	25	25	
施設整備費補助金	1,635	1,610	△ 25	
うち補正予算による追加	-	160	160	
補助金等収入	697	2,681	1,984	(注1) (注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	39	25	△ 14	
自己収入	26,523	27,519	996	
授業料、入学科及び検定料収入	5,033	4,967	△ 66	
附属病院収入	21,079	21,930	850	(注3)
雑収入	411	622	211	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,452	3,537	85	
引当金取崩	71	68	△ 2	
長期借入金収入	583	546	△ 37	
目的積立金取崩	346	427	80	(注5)
計	45,512	48,879	3,367	
支出				
業務費	37,966	38,356	390	
教育研究経費	16,991	16,414	△ 576	
診療経費	20,975	21,941	966	(注6)
施設整備費	2,257	2,182	△ 76	
うち施設整備等事業	-	160	160	
補助金等	413	2,337	1,923	(注7) (注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,452	2,627	△ 825	(注9)
長期借入金償還金	1,423	1,409	△ 14	
計	45,512	46,910	1,398	
収入-支出	0	1,969	1,969	

注) 「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額 388百万円

○予算と決算の差異について

(注1) 補助金等収入には、授業料等減免費交付金が345百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注2) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症対策にかかる補助金の増加及び補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,984百万円多額となっております。

(注3) 附属病院収入については、高額医薬品の適用患者の増加等により、予算額に比して決算額が850百万円多額となっております。

(注4) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入、地方自治体及び公益財団法人からの交付金等の増加に努めたため、予算額に比して決算額が211百万円多額となっております。

(注5) 目的積立金取崩については、計画の変更により予算額に比して決算額が80百万円多額となっております。

(注6) 診療経費については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が966百万円多額となっております。

(注7) 補助金等には、(注1)に示した理由により、授業料等減免費交付金345百万円が含まれておりません。

(注8) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,923百万円多額となっております。

(注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が825百万円少額となっております。